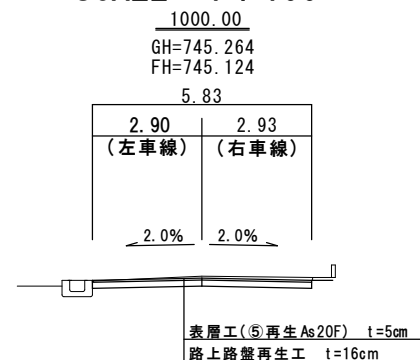
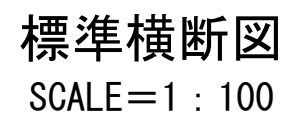
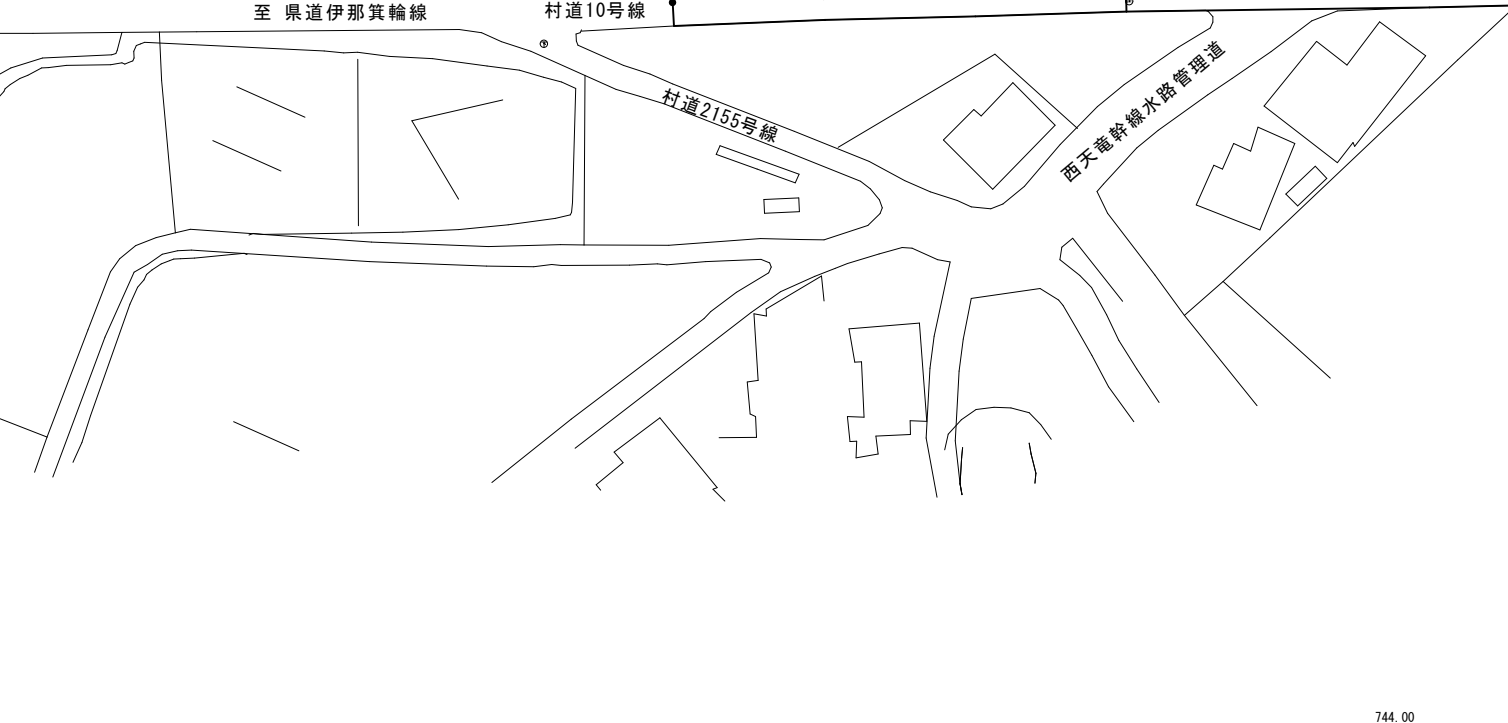
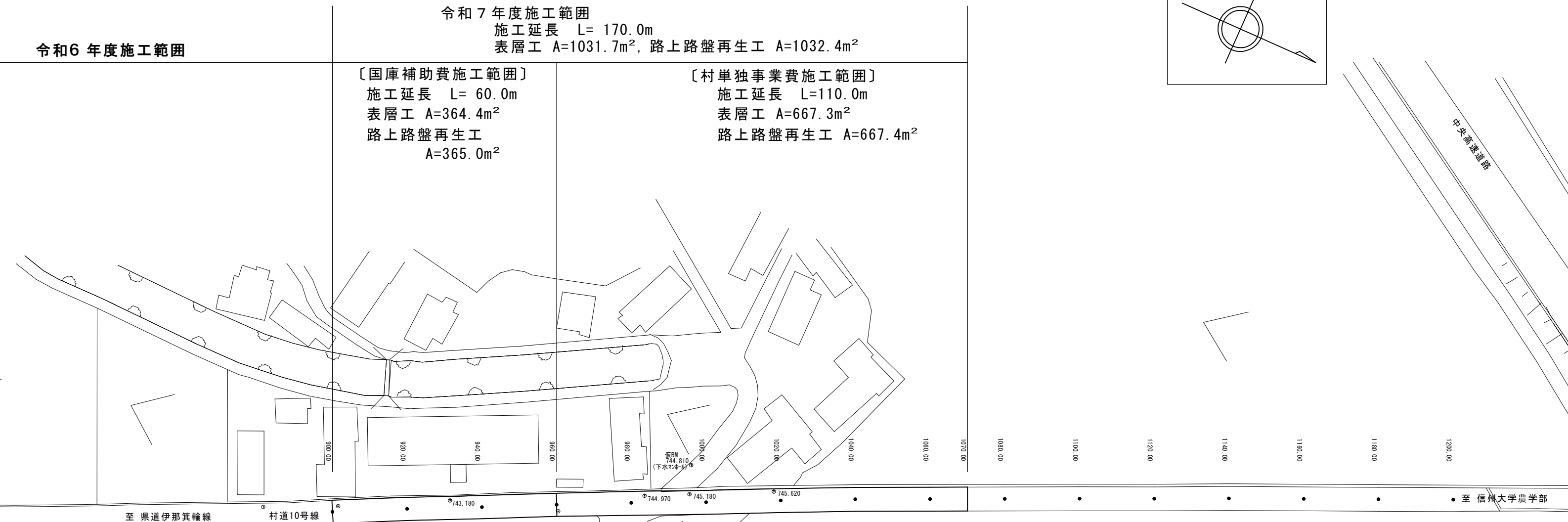


平面图 SCALE=1 : 500



舗 装 厚 決 定 根 拠			
令和元年度FWD調査結果による			
設計期間の大型車1日1方向交通量		台/24h	交通区分 N 4
断面から算出されるTAO 9.5		FWD推定残存TAO 9.6	
設計CBR値 4		必要TA 18	
		凍結深	35 cm
将来舗装計画			
舗 装 厚		舗 装 厚	
設計CBRより	TA目標値 18	凍結深より	$35 \times 0.7 = 24.5 \text{ cm}$
	cm 係数 TA		
表 層 工	$5 \times 1.0 = 5.0$	表 層 工	×
路上再生	$16 \times 0.65 = 10.4$	上層路盤工	×
既設下層	$13 \times 0.2 = 2.6$	下層路盤工	×
計	34 cm 18.0	凍上抑制層	cm
		計	cm
置 換 層	必要なし		
合 計	34 cm	合 計	cm

$$\text{標高補正後の凍結指数} = 58 + 0.5 \times 73 \times \frac{(763 - 633)}{100} \div 105^\circ \text{C} \cdot \text{日}$$

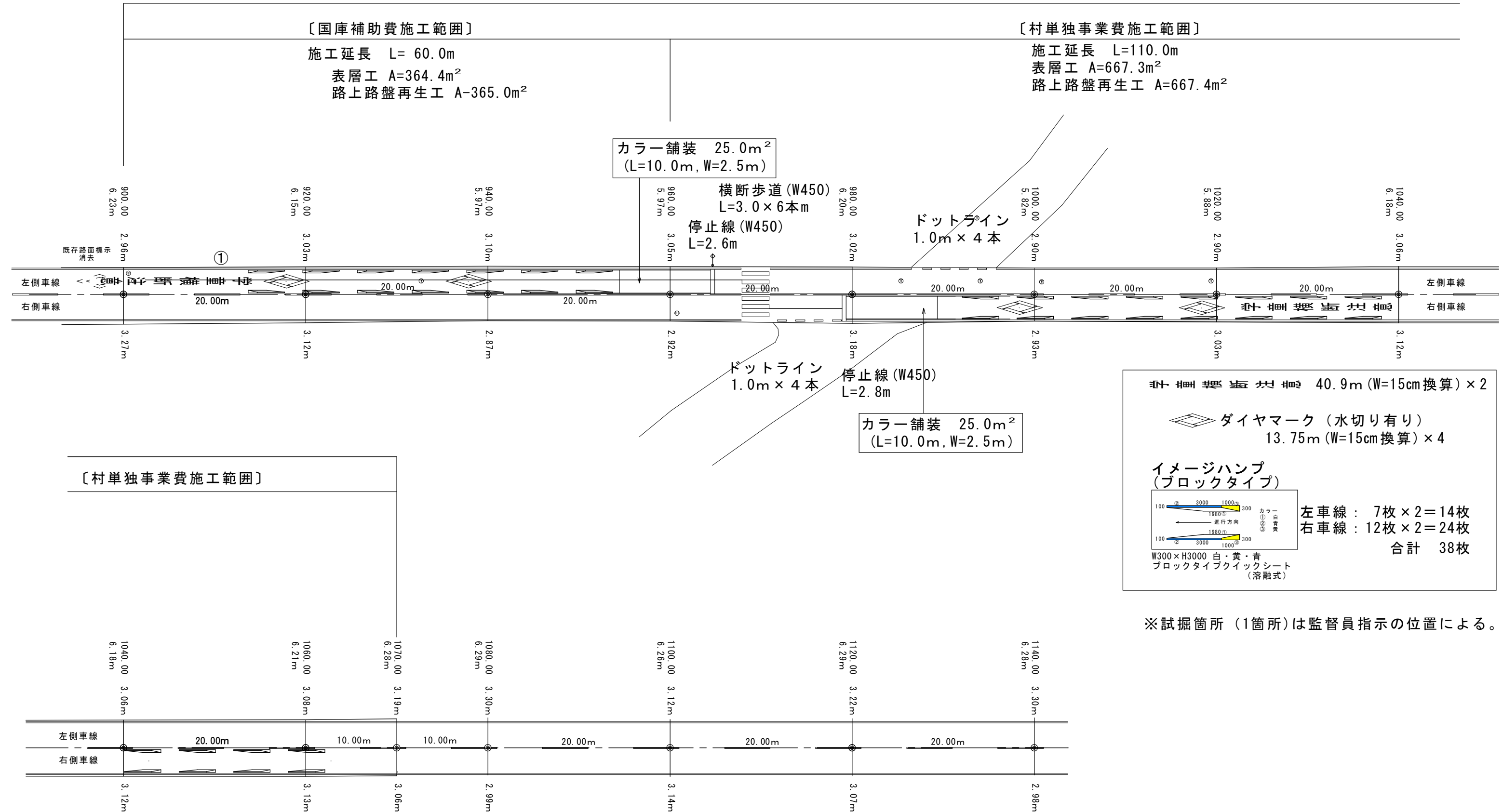
舗装設計便覧曲線表より、凍結深さは35cmとなる。
設計凍結対策深さは、上記凍結深さの70%を見込み、次の値とする。
設計凍結深さ＝ $0.7 \times 35 = 24.5\text{cm} \quad \approx 25\text{cm}$

実施図

令和7年度 社会資本整備総合交付事業 村道10号線舗装修繕工事							
番号	1 / 2	平面図・標準横断面図	縮尺	図示			
村道10 信大沢尻線 南箕輪村 沢尻							
村長	藤城	課長	武井	照査	唐澤	設計	小林
南 箕 輪 村							

展開図 SCALE=1:200

令和 7 年度施工範囲 施工延長 L= 170.0m 表層工 A=1031.7m², 路上路盤再生工 A=1032.4m²



※試掘箇所（1箇所）は監督員指示の位置による。

展開図

令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 村道10号線舗装修繕工事						
番号	2/ 2	展開図	縮尺	1 : 200		
村道10 信大沢尻線 南箕輪村 沢尻						
村 長	藤 城	課 長	武 井	照 査	唐 澤	設 計
			南 箕 輪 村			